

水性高級アクリル結合材配合 | 漆喰用下地調整材 | 内装用 |

漆喰以外の塗り壁材にもしっかり対応!

ウチカベース

旧: 田川産業ボードベース

コテ押さえしやすく塗りやすい!!

高強度でアク止めにも効果的!!

石膏ボードに塗っても紙剥れしない!!

漆喰の塗り替えに最適!!

下地に直接塗れて簡単施工!!

環境にやさしい
F★★★★

日本建築仕上材工業会登録

■登録番号: 0307413

■放散等級区分: F☆☆☆☆

■問合せ先: <http://www.nsk-web.org/>



結合材1kg【液体】

主材4kg【粉末】

主成分	アクリル結合材、石膏(中性タイプ)
用途	内装用下地調整材
標準施工面積	4㎡/セット(塗厚1mm)
正味質量	5kg(主材4kg、結合材1kg)×4セット



用途

- 漆喰等、アルカリ系上塗り下塗材
- 塗り替え用下塗材
- 各種下地の小不陸調整

推奨仕上材

- 漆喰(城かべシリーズ、大津)
- 珪藻土(大地の息吹、山河の息吹)
- 砂壁、聚楽壁

対応下地

- 新設下地
石膏ボード、合板(アク止めシーラ処理後ご使用ください。)
- 改装下地
漆喰、珪藻土、砂壁、聚楽壁、クロス etc.

※古壁の状態を事前に現場確認し、施工可能か判断することが重要です。改修不可能と判断した場合は、下地から作り直すことをご検討ください。

混練

1 結合材を投入



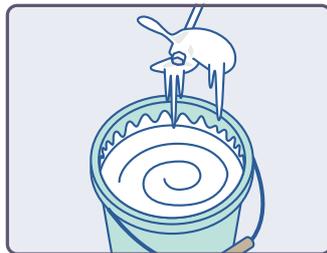
結合材1kg(液体)を入れます。

2 主材を投入



主材4kg(粉体)を入れます。

3 十分に混練



ハンドミキサーでよく混ぜ合わせます。

4 粘度を調整

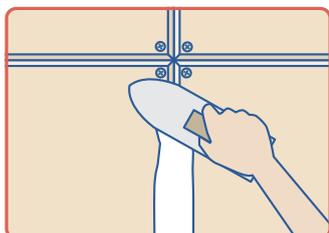


加水は
400ml
以内

混練し適当な硬さに水道水で調整します。
※混練後、60分以内にご使用ください。

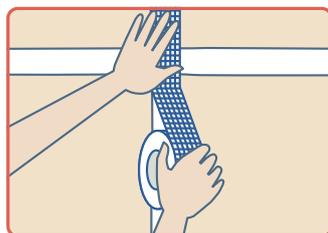
石膏ボード下地への施工

1 Vカット目地埋め



Vカット部分を専用目地材で充填します。
※ジョイント部分の痩せが少なくなります。

2 ジョイント処理



ファイバーテープをボードのつなぎ目部分に張り付けます。

3 ウチカベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

4 各種仕上げ材塗布



乾燥後、漆喰上塗りを行います。

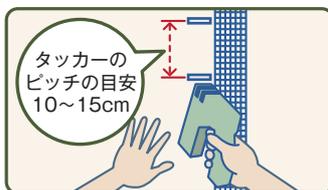
ビニルクロスへの施工

1 下地の歪み等の確認 クロス面の清掃



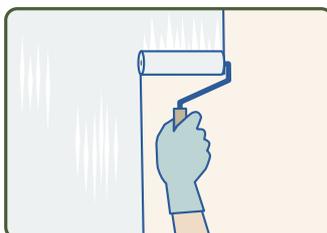
クロスが破れている場合は、下地を補修し、タバコやカビ等の汚れは、中性洗剤やカビ除去剤で清掃してください。

2 めくれた部分の補強



タッカーの
ピッチの目安
10~15cm
クロスが浮きめくれはカッターで除去し、ファイバーテープを張り付け補強し、タッカー止めをしてください。クロスをつなぎ目も同様にしてください。

3 城かベシーラ塗布



アク止めの為、城かベシーラを全面にローラーを使って塗布します。

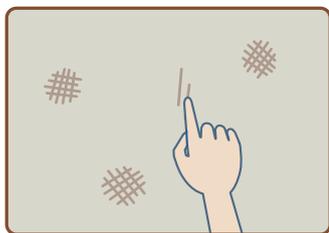
4 ウチカベース全面塗り 各種仕上げ材塗布



ウチカベースを薄く平滑に塗り付け、乾燥後に漆喰上塗りを行います。

古い漆喰壁の塗り替え施工

1 状態の確認



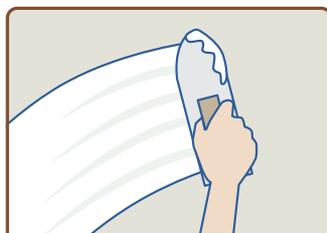
古壁の場合、下地に剥離がないか状態を確認してください。

2 清掃



チリ・ホコリ・カビ・コケ・サビ等の付着物は事前に清掃し、取り除いてください。

3 ウチカベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

4 各種仕上げ材塗布



ウチカベースが完全に乾燥した後に、各種の上塗り材で仕上げ作業を行います。

ご注意

- 適応下地以外には使用しないでください。
- 均一な厚みで塗りつけてください。極端な厚塗りにはピンホール・網状クラックの原因となります。
- 不陸のある古壁の場合、あらかじめ水を少なめにシコキ塗り、水引き後塗り重ねてください。
- 本品塗り付け後は、完全に乾燥しているのを確認してから上塗りしてください。施工を急ぎますとピンホール、膨れ・アク・シミの原因となります。

販売店・施工者様へのご注意及び、おことわり

- 目に入った場合は、水で最低15分間洗眼し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
- 肌に付着した場合は、水と石鹸でよく洗い流してください。
- 残材は、下水・河川・池・井戸・地下水等を汚染する恐れのある場所には、廃棄しないでください。
- 他の製品・ボンド等と混合しないでください。